



こうか
まちかど特派員

はぐろ
歯黒あずさ



懐かしくて新しい手作りFM放送局

現在開催中の「信楽まちなか芸術祭」では、インフォメーションセンターにFM局が開局されています。ここではイベント情報などがリアルタイムで発信されており、散策に便利でお得な情報を聴くことができます。今回はこの便利な情報を発信する「FMしがらき」を取材しました。

信楽まちなか芸術祭の開催にあわせ開局されたFMしがらき、実は以前にも開局されていたことがありますが、10数年前に開局されたとき、私はまだ小学生でした。大人たちがワイワイ楽しそうに放送をしたり、計画をしているのを遠くから見ている、いつかこんな素敵な大人になれたらいいなと思って思ったものです。

懐かしいロゴマークには、信楽の山をイメージし、信楽の「S」を斜めにして、電波を信楽から発信していくという意味が込められています。



▲FMしがらきロゴ

生放送は、芸術祭の期間中のオーブニング（10月1日）・土日祝・クローリング（11月23日）の20日間の9時から18時までで、平日の9時から18時の間はインフォメーションとしてまちなか情報が流れています。信楽支所東別館にあるスタジオ、ここでは生中継や生電話、実際にスタジオに来てもらってのインタビュー

など色々な形で信楽まちなか芸術祭の情報を発信、トリエンナーレってなにか？まちなか芸術祭ってなにか？というような素朴な疑問を、放送を重ねていく中で皆さんに知ってもらえたらいいな、という思いで放送されています。ここで情報を知り、この機会に信楽で芸術に触れ、身近に感じてもらうならうれしく思います。



▲お話を伺ったFMしがらき
実行委員会代表の宇田安利さん

FMしがらきには市内外から65名というたくさんのボランティアの方が関わっています。中学生や高校生から40代50代まで幅広い世代の方が参加し、世代間の交流の場にもなっ

ています。みんなでワイワイ楽しく一緒にしようというスタンスで、素敵なまち信楽をたくさんの人に知ってもらえる楽しい番組になるように企画運営されています。

この活動を通して、地域を越えた人と人の繋がりができ、また一緒に何かをやっていくことができれば素晴らしいことだと思います。私ももっと信楽を知るためにFMしがらきに関わらせていただいています。信楽に住んでいても「こんな

ところがあったんだ」と、発見することがたくさんある中で、FMしがらきを通じてより多くの人が信楽を知って大好きなまちになり、まちづくりの輪が広がって行けばいいなと思います。



▲終始和やかな雰囲気スタジオ



▲ボランティアの皆さん

FMしがらき

リクエスト、応援メッセージ募集(11月23日まで)

☎ 60-1911 Eメール mail@fm775.jp

ツイッター #fmshigaraki をつけてつぶやいてください。